

青年対策交流集会に参加して

2月22日～2月24日の3日間で第25回青年対策交流集会に参加しました。1日目に鈴木委員長による「全港湾の歴史」についての講義、2日目に、松永書記長による「全港湾青年部の歴史とこれからの全港湾」についての講習を受けました。この2つの講義を受けて私が学んだことは、「横の繋がり的重要性」です。講義を受けて、いつの時代も1人の力では何にもできない、全国の仲間の力を集結させたからこそ今の全港湾そして全港湾の歴史があるのだと思いました。また、その後の分散会では、石炭問題、原発問題、米軍基地問題といった各地方の様々な問題について質疑応答の時間や交流の場を使い改善の糸口を探り、その問題に対して向き合っていく姿勢にとっても感銘を受けました。2日目の最後にレクリエーションでドッジボール大会をしました。私の班はブービー賞でしたが、みんなと汗を流し体を動かしたのはとても楽しかったです。3日間を通して本当に横のつながりの重要性を改めて感じました、でも我々青年部まだまだ未熟な所も多くありますのでそこは「縦のつながり」先輩たちから教えを乞う事でこれからの全港湾、青年部の明るい未来のために頑張っていきたいと思います。このような素晴らしい集会に参加させて頂きありがとうございました。

日本海地方青年部 本間 皓